

オイデイク。ス王

原作 ソフオクレス 翻訳 山形 治江

シアターボックス 演出者工房 07
リーディングシアター

2008.3.29(土)・30(日)

開場 14:45 開演 15:00 チケット料金/1,000円(限定50席・予約制)

(各回、ゲストによるレクチャーとアフタートークがあります。)

せんだい演劇工房 10-BOX box-1

仙台市若林区卸町二丁目12-9 / TEL: 022-782-7510 / FAX: 022-235-8610 / E-mail: box-10@k2.dion.ne.jp

主催 / 財団法人仙台市市民文化事業団、おろしまち舞台芸術支援会議
協力 / せんだい演劇工房 10-BOX

演出リーダー …… 佐々木 久善
アドバイザー …… itouみや
(おろしまち舞台芸術支援会議)
出演(順不同) …… 茅根 利安 渡部 さとる
館林 敦士 高橋 菜穂子
上島 奈津子 チバカズ
安藤 敏彦 タムラミキ
樋渡 宏嗣
照 明 …… 亀山 季代子
音 響 …… 山口 裕次(‘有’舞台監督工房)

オイディプス王

シアターボックス

演出者工房 07
リーディングシアター

コリントス王家の一人息子オイディプスは、怪物スフィンクス退治の功績により、テーバイの王妃イオカステと結婚し王座に就いた。

イオカステは未亡人で、二人はひと回り以上の年の差があったが仲睦まじく、男女四人の子をもうけた。

外国出身の王だったが市民の尊敬と信頼は厚く、国は繁栄した。

だがある年、いまだがつてない飢饉と疫病が起こり、

テーバイは国家存亡の危機に立たされた。 山形治江 訳 劇書房「オイディプス王」より

演出リーダー 佐々木 久善

プロフィール

仕事のかたわら、年間100本演劇を観る演劇鑑賞の猛者。劇評執筆や高校演劇コンクールの審査などもおこなう。昨年来「演出者工房」に参加し、満を持して演出リーダーとなる。戯曲の持つスピード感を活かしたシンプルな演出プランを呈示した。

初めて『オイディプス王』を観たのは、20年も昔、東京の築地本願寺でのことだ。蜷川幸雄が演出で、オイディプスは平幹二郎。夜の上演にもかかわらず、午後3時には開場されていて、昼から夜にかけての情景の変化を、これから始まる芝居への期待と共に楽しんでいた。ゆっくりと陽が落ち、やがて辺りは暗くなり、いよいよ開演、という瞬間、クレーンが巨大な円盤を空高く引き上げ、そこに照明が当てられた。人工の月だった。その時から私は「オイディプス王」に取り憑かれた。演出リーダーとして、この作品と再会したことにより、私は20年前に受けた衝撃を原体験としながらも、それを超えるという難題に全力で取り組んでいる。蜷川作品を超えていくのだ！

Cast

オイディプス — 茅根利安
クレオン — 渡部さとる
神官 — 館林敦士
預言者 / イオカステ — 高橋菜穂子
羊飼 い — 上島奈津子
使者 — チバカズ
コロス — 安藤敏彦
コロス — タムラミキ
報告者 — 樋渡宏嗣

Staff

照明 — 亀山季代子
音響 — 山口裕次 (有 舞台監督工房)
宣伝美術 — タノタイガ

レクチャー & トークゲスト (予定)

山形 治江 (ギリシャ悲劇研究家・翻訳家・日本大学研究所教授)

津田塾大学卒。早稲田大学大学院博士課程満期修了。1987年から90年にかけて、アテネにギリシャ政府給費留学。著書『ギリシャ悲劇』(朝日新聞社)ほか。訳書『ソフォクレス作『オイディプス王』『エレクトラ』』(劇書房)、『エウリピデス作『メディア』『オレステス』』(れんが書房新社)。いずれも蜷川幸雄演出で上演される。2003年度湯浅芳子翻訳賞受賞。

坂口 大洋 (東北大学教授)

大阪市出身。東北大学大学院都市・建築学専攻。せんだい演劇工房10-BOX、卸町音楽スタジオMOX、神楽舞台04などの計画や設計に関わる他、都市間演劇創作プロセス、下北沢、ソウル大学路などの都市と小劇場の調査研究をおこなう。建築や舞台芸術の製作集団テトラロジックススタジオ共同主宰。

おろしまち舞台芸術支援会議

俳優・演出家の渡部さとる(米澤牛改め)、照明家の亀山季代子、演出者のいとうみやによるユニット。身体を軸とする舞台芸術の振興と表現者の交流を目的に、演出者工房の運営のほか、くことばとからだをテーマにしたワークショップ企画をおこなう。これまでに「演劇大学」、「山下残、ワークショップ」、「千賀ゆう子の語りワークショップ」、「ムスタヒール・アリス(バグダット)仙台公演」、「日玉浩史の“えびすテーマ”ダンスワークショップ」、「アン＝マリ＝マクドナルド(カナダ)リーディング」、「ダニエル・マカイパー(カナダ)レクチャー」などを開催。

演出者工房

〈演出〉という作業についての自主的な勉強会の場として2006年度から継続しています。課題戯曲の分析と意見交換、読み合わせ、演出プランの公開プレゼンテーションなどをおこない、期間の最後には成果発表として演出リーダーを中心にリーディング上演を試みます。

リーディングライブ

これまでの上演記録

vol.1『4時48分サイコシス』作＝サラ・ケイン(イギリス)、翻訳＝谷岡健彦、演出リーダー＝米澤牛、ドラマドクター＝大宮司勇、出演＝高橋菜穂子、高橋美峰子、寺田美夏、原西忠佑、樋渡宏嗣、渡部さとる、ゲスト＝阿部初美(演出家)、ヴァレリー・モアイオン(演出家)

vol.2『ハイ・ライフ』作＝リー・マクドゥーガル(カナダ)、翻訳＝吉原豊司、演出リーダー＝チバカズ、ドラマドクター＝クマガイコウキ、出演＝真田鯨、茅根利安、樋渡宏嗣、渡部さとる、ゲスト＝貝山武久(演出家・メープルリーフシアター主宰)、クマガイコウキ(映像作家)

vol.3『エレクトラ』作＝ソフォクレス(ギリシャ)、翻訳＝A:松平千秋、B:山形治江、演出リーダー＝A:川村智美、B:高橋菜穂子、出演＝A:寺田美夏、タムラミキ、永澤真美、オーサカハヤト、館林敦士、いとうみや、B:米澤牛、なかじょうのぶ、茅根利安、チバカズ、樋渡宏嗣、安藤敏彦、かとれあ、佐々木久善、高橋宗義、須口真喜、ゲスト＝山形治江(ギリシャ悲劇研究家)

日時/3月29日(土)・30日(日) 開場/14:45 開演/15:00
会場/せんだい演劇工房10-BOX box-1 (仙台市若林区卸町二丁目12-9)
料金/1,000円(限定50席・予約制)
予約・問い合わせ/せんだい演劇工房 10-BOX (担当:伊藤・亀山)
TEL/022-782-7510 FAX/022-235-8610
E-mail/box-10@k2.dion.ne.jp

